

～屋上・壁面緑化空間は近年どの程度創出されているか～

全国屋上・壁面緑化施工面積調査（平成12～17年）について

平成18年7月4日(火)
国土交通省 都市・地域整備局
公園緑地課 緑地環境推進室
古澤、加藤、木村（内線32-972）

I. 発表の趣旨

近年、都市におけるヒートアイランド現象の緩和、美しくうるおいある都市空間の形成等の観点から、屋上緑化が盛んに実施され、また壁面緑化も行われるようになってきています。

屋上緑化・壁面緑化空間が全国にどの程度創出されているかは明らかではありませんが、このたび、最近（平成12年～17年の6年間）の屋上緑化・壁面緑化空間の創出状況の大きな把握を行うために、屋上緑化・壁面緑化の実施に関連する主な企業等を対象に、近年の施工面積の実績をおたずねするアンケート調査を行いました。

本調査結果は、全ての屋上緑化・壁面緑化を捕捉したものではありませんが、近年の概ねの傾向をとらえる上ではある程度の参考になるものと思われまます。

その結果を以下にご報告いたします。

II. 調査の実施概要

- ①調査方法：郵便調査法（インターネット利用による調査票のダウンロード、メールでの返送も可能とした）
- ②調査対象企業：全国の造園建設会社、総合建設会社（ゼネコンなど）、屋上緑化・壁面緑化関連資材販売・施工会社（メーカーなど）計303社
- ③調査実施期間：平成17年12月～平成18年1月末日
- ④調査対象物件：平成12年(2000年)1月1日～平成17年(2005年)12月31日に竣工した屋上緑化空間、壁面緑化空間
- ⑤回答回収状況：回収152社（調査対象303社に対し、回答率50.2%）

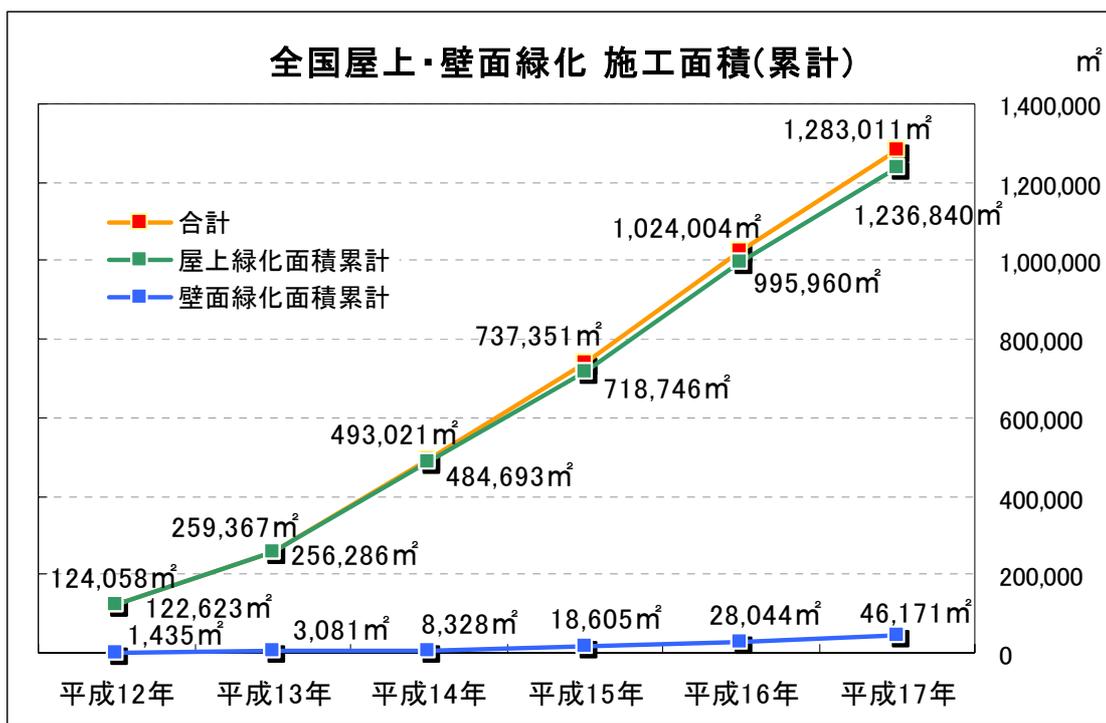
III. 調査結果の概要（要約）

III-1. 報告された屋上緑化・壁面緑化面積

調査で報告された緑化面積は、平成12～17年の6年間の合計で、屋上緑化が約124ha、壁面緑化が約4.6ha、合計約128haでした。（表-1）

表-1 調査で報告された屋上緑化・壁面緑化面積（平成12年分以降の累計） 単位：ha

	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
屋上緑化	12.3	25.6	48.5	71.9	99.6	123.7
壁面緑化	0.1	0.3	0.8	1.9	2.8	4.6
屋上+壁面	12.4	25.9	49.3	73.7	102.4	128.3



Ⅲ—2. 都道府県別の報告面積

(1) 屋上緑化

・調査で報告された屋上緑化面積（平成12～17年合計）が合計5ha（50,000m²）以上であった都道府県は、下の6都府県でした。（報告面積の多い順）

- ① 東京都（約39.5ha）、② 神奈川県（約15.9ha）、③ 大阪府（約9.6ha）、
④ 愛知県（約9.4ha）、⑤ 兵庫県（約7.1ha）、⑥ 埼玉県（約5.9ha）

・合計5ha（50,000m²）未満1ha（10,000m²）以上であった都道府県は、下の9道府県でした。（報告面積の多い順）

- ⑦ 福岡県（約3.8ha）、⑧ 宮城県（約3.3ha）、⑨ 静岡県（約3.0ha）、
⑩ 千葉県（約3.0ha）、⑪ 北海道（約1.7ha）、⑫ 京都府（約1.6ha）、
⑬ 岐阜県（約1.3ha）、⑭ 広島県（約1.2ha）、⑮ 長崎県（約1.1ha）

(2) 壁面緑化

・調査で報告された壁面緑化面積（平成12～17年合計）が合計0.1ha（1,000m²）以上であった都道府県は、下の6都府県でした。（報告面積の多い順）

- ① 東京都（約2.0ha）、② 愛知県（約0.8ha）、③ 兵庫県（約0.5ha）、
④ 埼玉県（約0.5ha）、⑤ 神奈川県（約0.2ha）、⑥ 静岡県（約0.1ha）

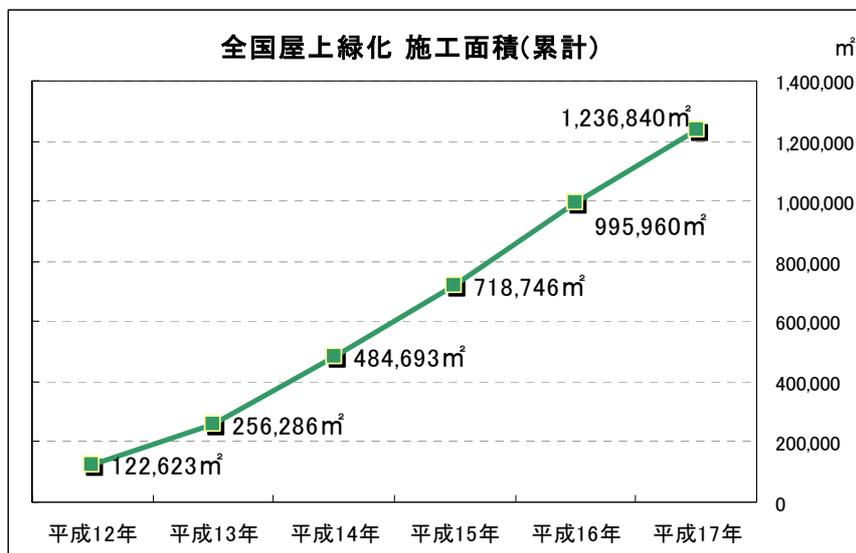
・合計0.1ha（1,000m²）未満0.03ha（300m²）以上であった都道府県は、下の9府県でした。（報告面積の多い順）

- ⑦ 福岡県（約0.08ha）、⑧ 千葉県（約0.08ha）、⑨ 和歌山県（約0.07ha）、
⑩ 栃木県（約0.05ha）、⑪ 茨城県（約0.05ha）、⑫ 石川県（約0.04ha）、
⑬ 山梨県（約0.04ha）、⑭ 大分県（約0.03ha）、⑮ 大阪府（約0.03ha）

IV. 調査結果の概要（詳細）

IV-1. 屋上緑化に関する結果概要(平成12年～17年分、以下同様)

①屋上緑化施工面積



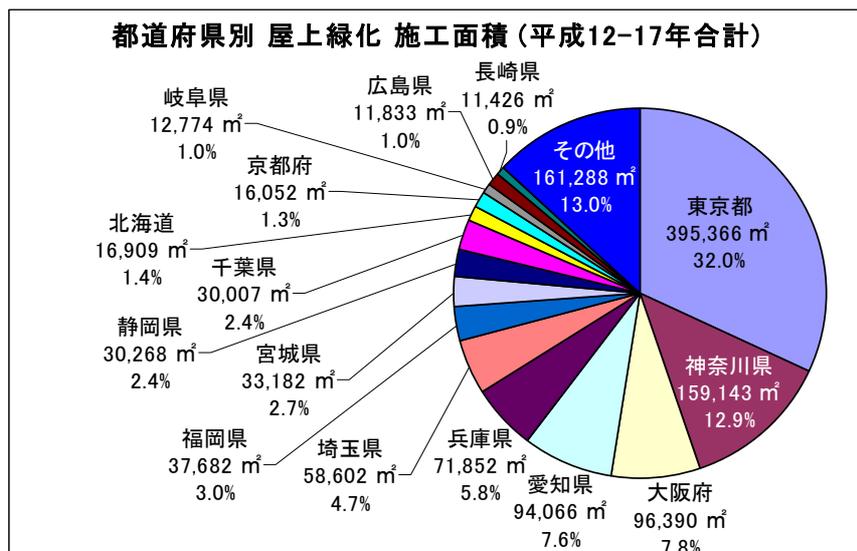
平成12年から平成17年の6年間に施工したと報告された屋上緑化の合計面積は、約124ha (1,236,840 m²)、約4600件 (4,645件)でした。

平成17年単年の年間施工面積は約24haで、平成12年単年の約12haの約2倍となりました。

屋上データ	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
施工面積 累計	122,623	256,286	484,693	718,746	995,960	1,236,840
施工面積 単年	122,623	133,663	228,407	234,053	277,214	240,879
施工件数 累計	447	1,004	1,840	2,715	3,800	4,645
施工件数 単年	447	557	836	875	1,085	845

(単位 件数：件 面積：m²)

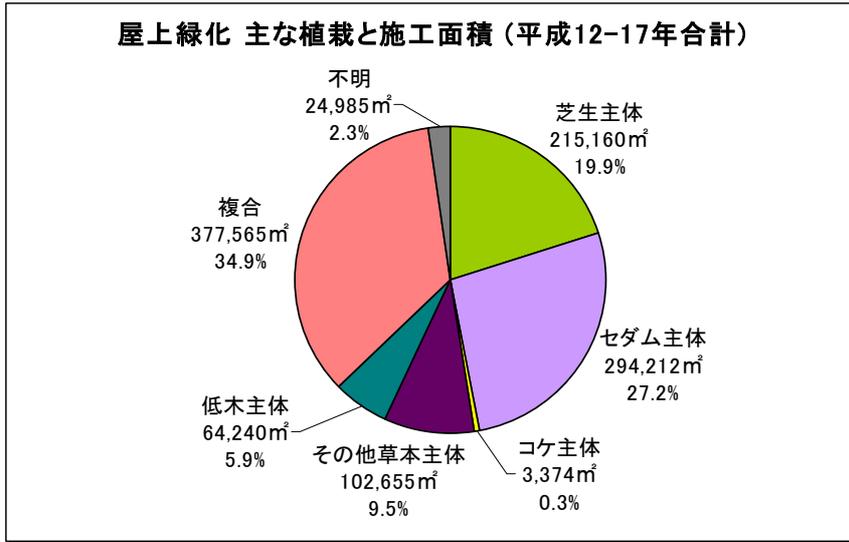
②都道府県別屋上緑化施工面積



6年間の施工面積合計を都道府県別に見ると、東京都が合計で約40ha(395,366 m²)と、全体の約3割を占めています。次いで神奈川県、大阪府、愛知県、兵庫県、埼玉県等の順で続き、大都市・大都市圏をもつ都道府県が上位に並びました。

なお、6年間の施工面積の合計が10,000 m²を超えた都道府県は、15ありました。

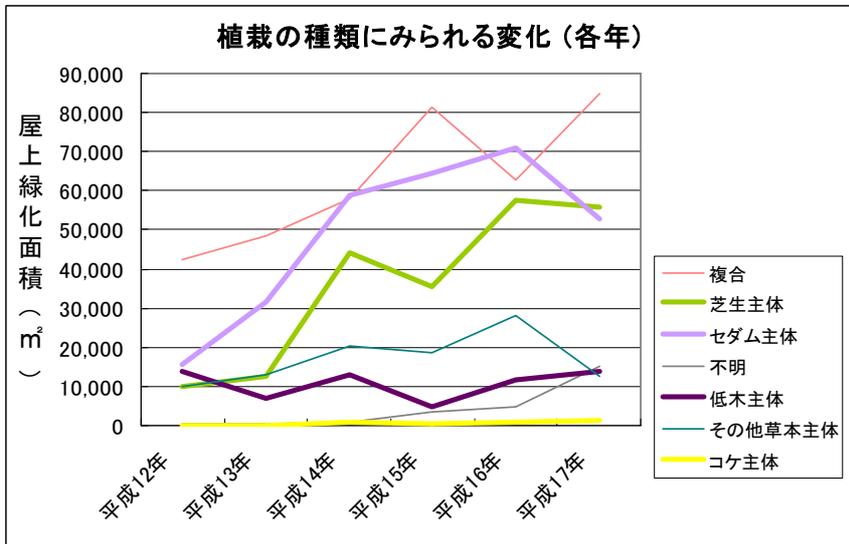
③緑化内容の別



6年間の累計で、芝生主体やセダム主体の植栽が、合わせて約47%の面積を占めています。

この2種類の植栽は、屋上緑化施工面積の伸びに合わせて約5.7倍、3.4倍と大きく伸びてきました。

なお、平成17年については、セダム主体の植栽が前年よりも減少し、樹木や草本などを複合した植栽が最も多くなりました。



平成	セダム主体	複合	芝生主体	その他草本主体	低木主体	コケ主体	不明	合計
12年	15,635 16.9%	42,452 45.8%	9,839 10.6%	10,055 10.9%	13,995 15.1%	0 0%	620 0.7%	92,596㎡
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
17年	52,695 22.3%	84,680 35.9%	55,731 23.6%	12,733 5.4%	13,754 5.8%	1,395 0.6%	14,985 6.4%	235,973㎡

植栽の種類について回答いただいた分についての集計ですので、上記の表の数値合計は、屋上緑化施工面積の各年合計とは一致しません。

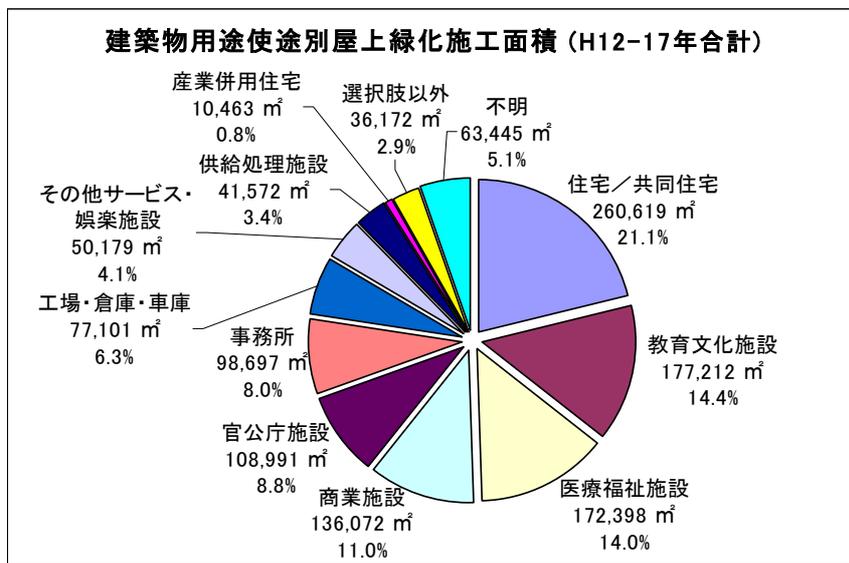
④建築構造の別

本項目については、構造不明、未記入が回答の約 35%を占めていましたが、回答されたものについて集計した結果は以下のとおりです。

鉄骨鉄筋コンクリート造と鉄筋コンクリート造が、全体の約 80%を占めていました。

植栽との関係をもてみると、鉄骨鉄筋コンクリート造や鉄筋コンクリート造には、土の重さや植物の重さが大きい低木植栽や複合植栽が多く、一方鉄骨造においては、軽量と推定される芝生植栽やセダム植栽の施工が多いという結果になっています。

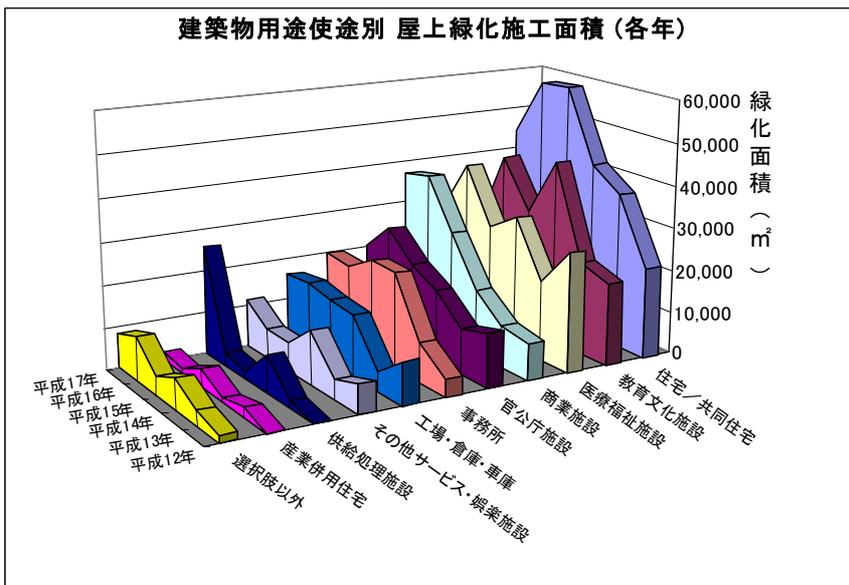
⑤建物用途使途別



建物の用途使途としては、住宅系が2割以上と一番多く、教育文化施設等の公共的な施設がそれに続きます。

また、商業施設における屋上緑化が大きく伸びてきており、平成17年単年では、約3.7ha (37,038㎡)と、住宅／共同住宅の約4.4ha (44,442㎡)に次ぐ面積となりました。

また、平成17年は供給処理施設も大きく面積を伸ばしました。

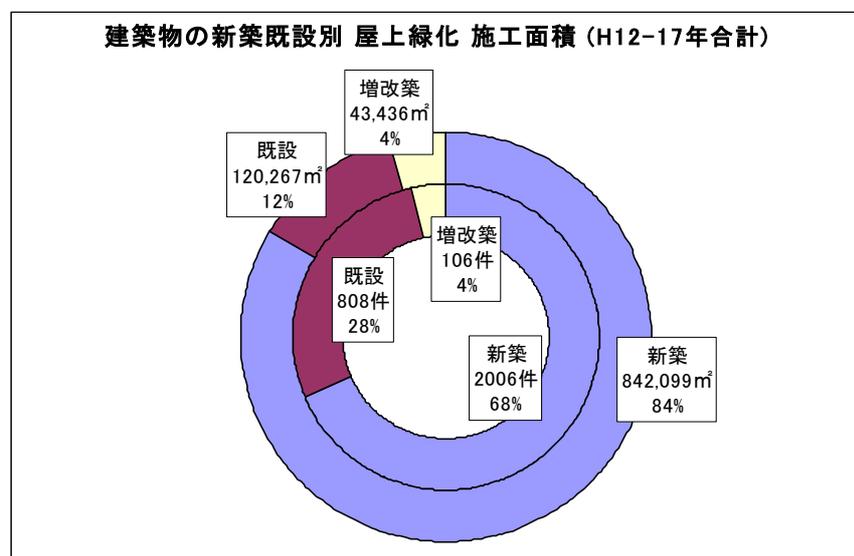


建築物用途用途別施工面積及び件数

上段：施工面積(㎡) 下段：施工件数(件)

建築物用途用途	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	合計	平均施工面積 (㎡/件)
住宅／共同住宅	21,324 147	36,648 184	41,708 254	58,571 291	57,927 338	44,442 271	260,619 1,485	175.5
産業併用住宅	10 1	2,272 6	886 5	4,258 15	1,067 4	1,970 11	10,463 42	249.1
教育文化施設	19,331 42	21,851 54	43,506 87	29,470 104	40,585 129	22,470 79	177,212 494	358.7
医療福祉施設	28,192 71	18,864 57	31,597 121	27,176 111	39,647 162	26,923 107	172,398 629	274.1
商業施設	8,557 15	9,938 18	15,445 25	26,762 50	38,333 57	37,038 48	136,072 213	638.8
官公庁施設	13,043 29	10,825 42	17,184 60	20,665 67	26,842 96	20,432 86	108,991 380	286.8
事務所	4,084 45	9,573 60	22,838 109	23,143 92	19,304 97	19,756 89	98,697 492	200.6
工場・倉庫・車庫	10,046 9	4,523 13	14,575 18	15,371 28	16,564 30	16,023 35	77,101 133	579.7
その他サービス ・娯楽施設	7,050 16	4,677 10	12,927 20	6,963 13	7,205 23	11,357 24	50,179 106	473.4
供給処理施設	71 1	1,780 7	9,054 7	1,865 9	3,042 9	25,760 10	41,572 43	966.8
選択肢以外	1,734 16	3,660 18	7,464 31	4,431 21	10,599 25	8,284 25	36,172 136	266.0
不明	9,181 55	9,053 88	10,366 98	15,380 77	15,801 116	3,664 26	63,445 460	-

⑥建築物の新築既設



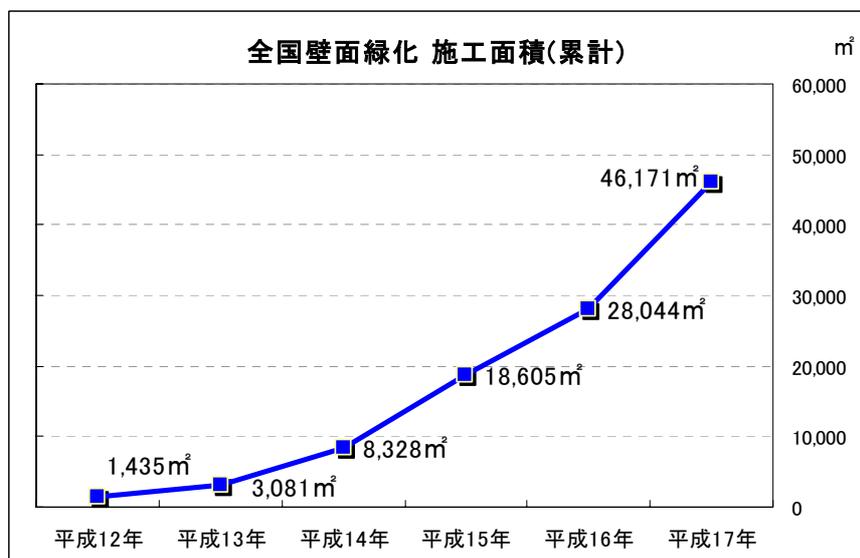
屋上緑化が施工された建築物の新築既設の別に関し、不明とする回答と無回答を除くと、屋上緑化の施工は、件数で68%、面積換算で84%が、新築建築物の屋上において行われたこととなります。

なお、1件あたりの緑化面積は、新築建物の場合が約420㎡/件、既設建物の場合は約149㎡/件と、新築か既設かで差がありました。

	回答内訳			回答合計	不明・ 無回答	全数
	新築	既設	増改築			
面積 (㎡)	842,099	120,267	43,436	1,005,802	231,038	1,236,840
件数 (件)	2,006	808	106	2,920	1,725	4,645
1件あたり面積 (㎡/件)	419.8	148.8	409.8			

IV-2. 壁面緑化に関する結果概要(平成12年～17年分、以下同様)

①壁面緑化施工面積



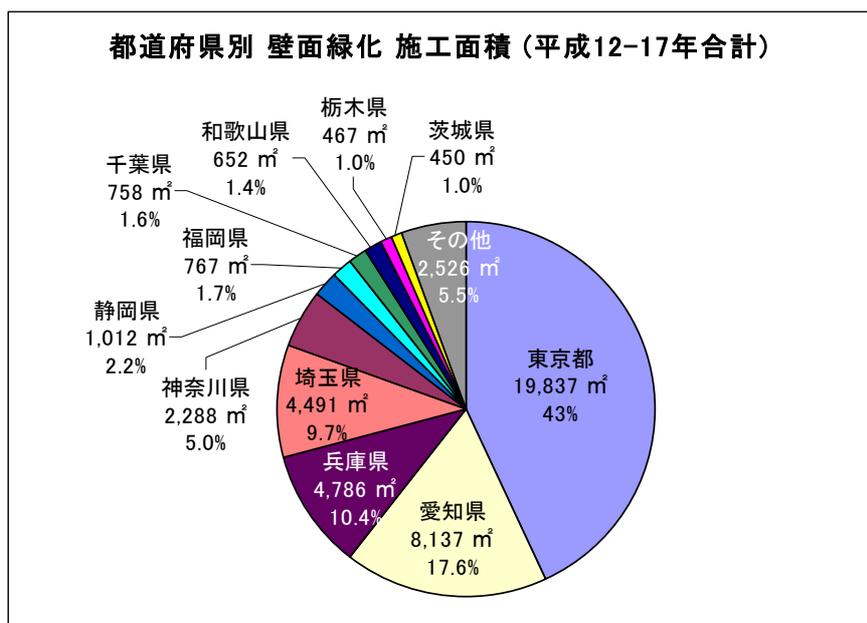
平成12年から平成17年の6年間に施工したと報告された壁面緑化の合計は、約4.6ha (46,171 m²)、約250件 (248件)でした。

平成17年単年の年間施工面積は約1.8ha (18,127 m²)で、平成12年単年の約0.14ha (1,435 m²)の10倍以上になりました。

壁面データ	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
施工面積 累計	1,435	3,081	8,328	18,605	28,044	46,171
施工面積 単年	1,435	1,646	5,247	10,277	9,439	18,127
施工件数 累計	7	30	77	123	166	248
施工件数 単年	7	23	47	46	43	82

(単位 件数: 件 面積: m²)

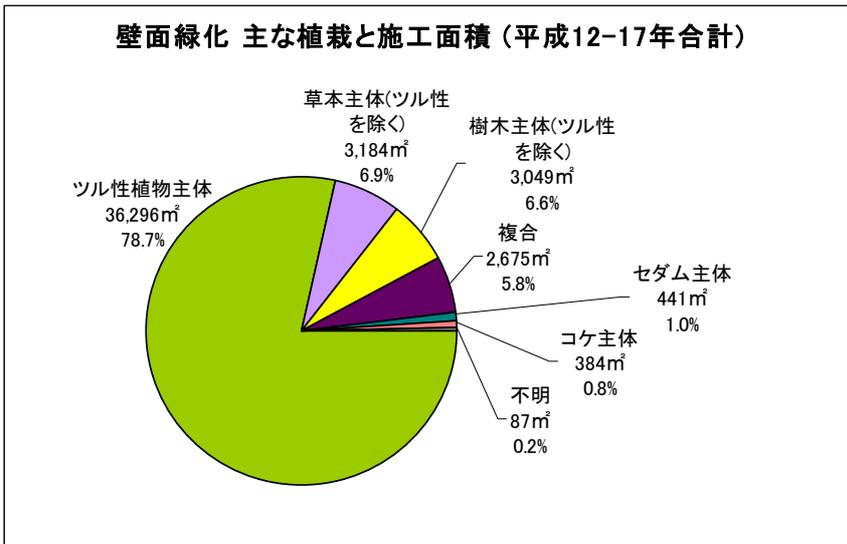
②都道府県別壁面緑化施工面積



6年間の施工面積合計を都道府県別に見ると、東京都が合計で約1.9ha (19,837 m²)と全体の約4割以上を占め、次いで、愛知県、兵庫県、埼玉県、神奈川県、静岡県等の順が続いています。

なお、多くの県では壁面緑化の施工は6年間合計でも数件にとどまり、また全く報告のない県もあって、各県で状況には大きな違いが見られます。

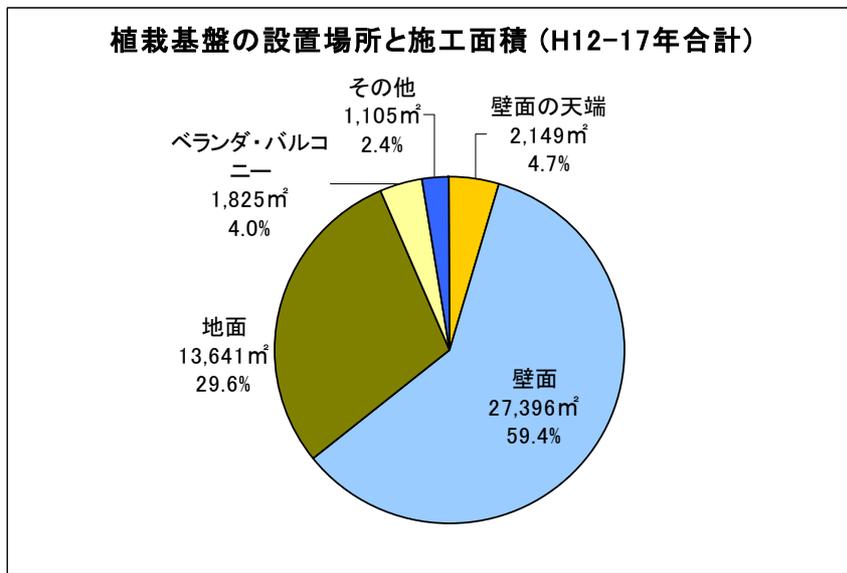
③緑化内容の別



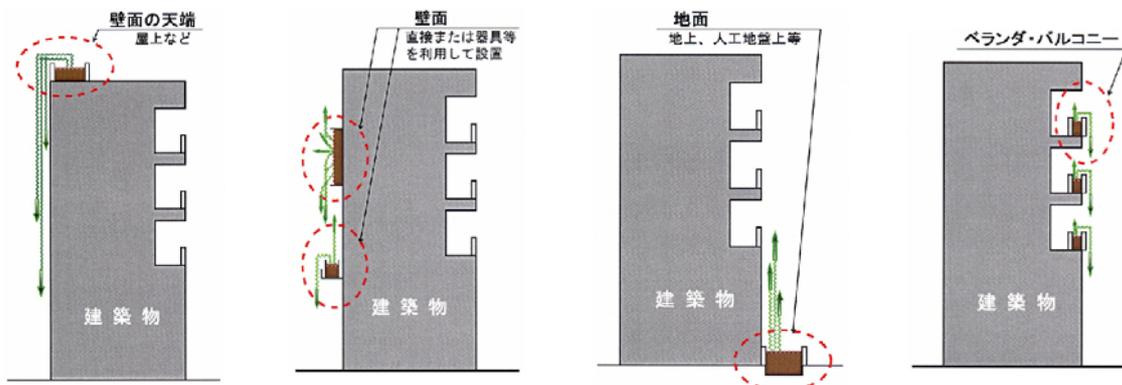
植栽の種類としては、ツル性植物を主体とするものが約 3.6ha (36,296 ㎡) ときわめて多く、全植栽の 8 割近くを占めています。

植栽基盤の設置位置については、植栽基盤を壁面上に固定して、植物を繁茂(登はん・下垂含む)させ、壁面を緑化するとしたものが約 6 割、壁面の前の地面(人工地盤含む)に植栽し、植物を登はんさせて壁面を緑化とするとしたものが、約 3 割でした。

ベランダやバルコニーの床面や手すりにプランター等を設置したとするものや、壁面の天端(屋上)に植栽柵等を置いて植物を下垂させて壁面を緑化とするとしたものは、あまりありませんでした。



植栽基盤設置位置例



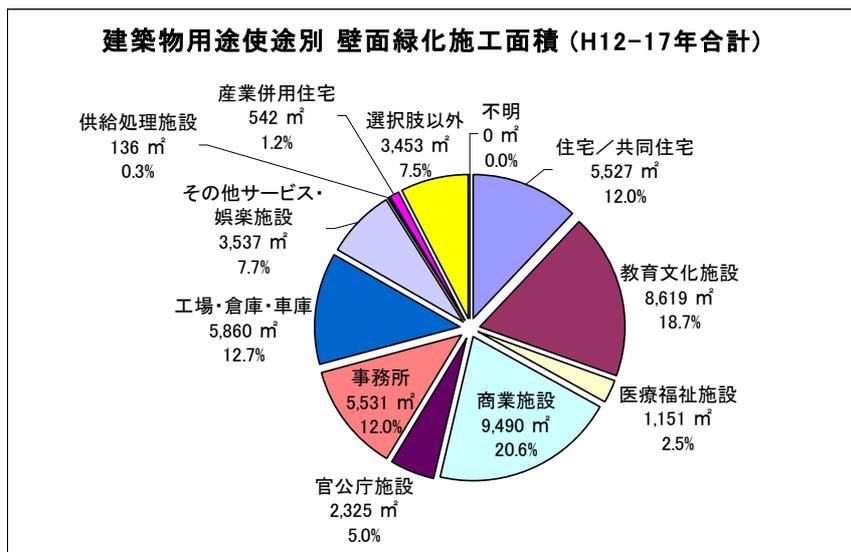
④建築構造の別

本項目については、構造不明、未記入が回答の約 1/4 を占めていましたが、回答されたものについて集計した結果は以下のとおりです。

鉄骨造が最も大きな割合を占め、全体の 36% でした。屋上緑化の施工の場合に多かった鉄骨鉄筋コンクリート造と鉄筋コンクリート造は、それぞれ 34% と 21% でした。

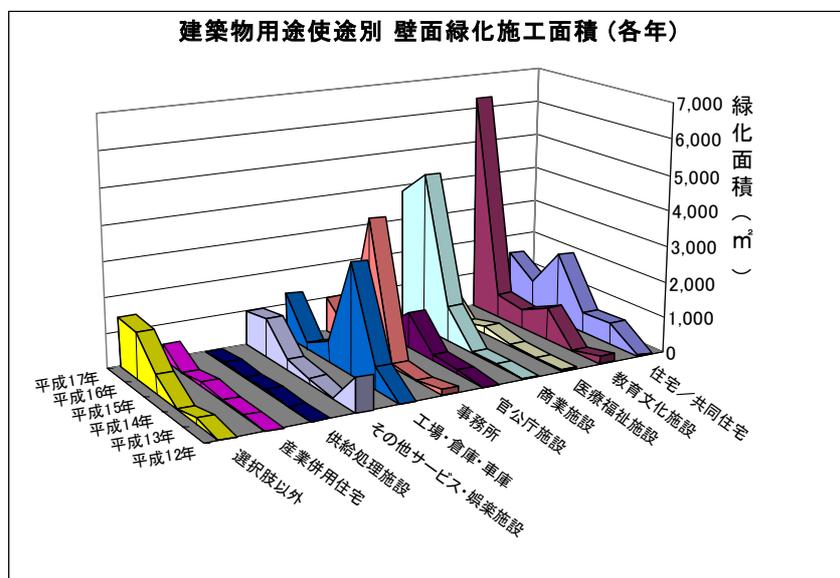
その他の構造の場合を除き、いずれの構造の場合も、最も多い植栽の種類はツル性植物主体の植栽でした。

⑤建物用途使途別



建物の用途使途としては、商業施設が約 2 割と一番多く、教育文化施設がそれに続いています。

商業施設や教育文化施設に伸びが見られます。なお、壁面緑化は全般に施工数が少ないため、数件の大規模な施工が各年の伸びに影響を与える側面もあります。



⑥屋上緑化と壁面緑化の同一建物への施工

平成 17 年に施工と回答のあった屋上緑化 845 件と壁面緑化 82 件についてみると、同一建物に対して両方の緑化が施工された場合が 23 件報告されています。

これは割合で見ると、壁面緑化された建物の約 3 割(29.6%)は、屋上緑化も施工されたこととなります。逆に、屋上緑化された建物の中で壁面緑化された建物は約 3% (2.7%) にとどまります。

V. 参考資料

1. 調査対象企業等

区分	対象社数	対象の選び方
造園建設会社	132 社	造園建設業関連の全国組織加盟各社の中から、売上規模上位の会社
総合建設会社（ゼネコンなど）	102 社	全国建設業者売上上位のゼネコン、及び、各都道府県の売上上位ゼネコン
屋上緑化・壁面緑化 資材販売・施工会社 (メーカーなど)	69 社	業界展示会等への参加実績や業界ヒアリングによる
合 計	303社	

上記については、(財)都市緑化技術開発機構 特殊緑化共同研究会における情報等を参考としました。

2. 調査対象物件（詳細）

①竣工時期

平成 12 年(2000 年)1 月 1 日～平成 17 年(2005 年)12 月 31 日(6 年間)に竣工された屋上緑化および壁面緑化

②屋上緑化の範囲

建築物の屋上に対する緑化で、ルーフバルコニーやベランダの床面に施工されたものや傾斜屋根を含みます。なお、安定的に設置しているものであれば、プランター等の容器(容量が概ね 100 リットル以上)を利用して緑化したものを含みます。

③壁面緑化の範囲

建築物または建築物に付随する構造物の壁面部分に対する緑化で、イベント用などに壁面のみが設けられた場合を含みますが、のり面や護岸などの土木構造物は含みません。また、自然に繁茂した植物が壁面を覆う場合も対象としません。

[建築物]

ここで建築物とは、建築基準法による「建築物」、「特殊建築物」、および「簡易な構造の建築物」を指しています。

3. 結果の回収状況

調査票の発送 303 通に対し、回収は 152 通で、回収率は、50.2%。区分毎の内訳は、以下のとおりでした。

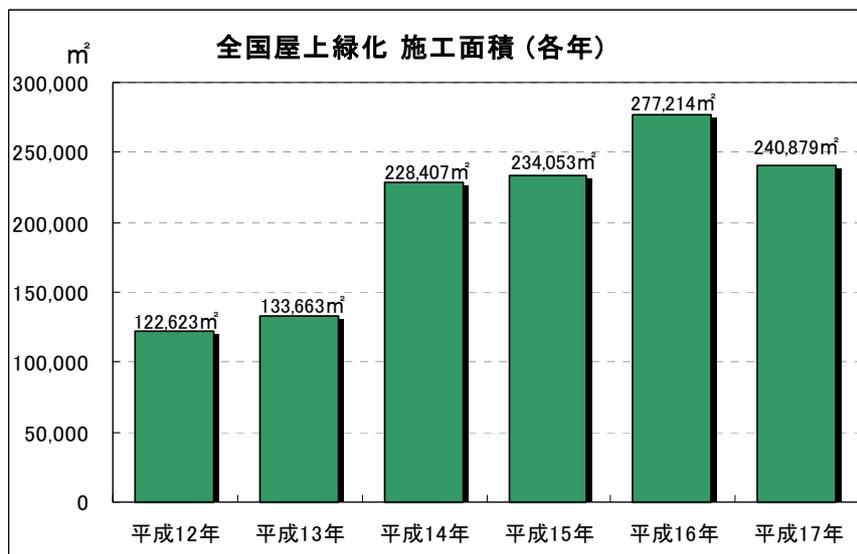
区分	発送数	回収数	回収率(%)
造園建設会社	132	70	53.0
ゼネコン	102	55	53.9
屋上緑化関連製品メーカー	69	27	39.1
合計	303	152	50.2

4. 結果の参考

4-1. 屋上緑化について

①屋上緑化施工面積(各年)

回答のあった年間屋上緑化施工面積は、平成12年から増え続けましたが、平成17年(単年)は平成16年度(単年)を下回りました。



屋上緑化の報告は年間1,000件未満程度であるため、当該年における大規模物件の数や中程度以下の物件の集中の度合い、アンケート回答の有無などによって各年の報告面積が変動する可能性があります。このため、動向を現時点で分析することは困難ですが、来年以降の継続調査を通じて引き続き傾向の把握に努めていきます。

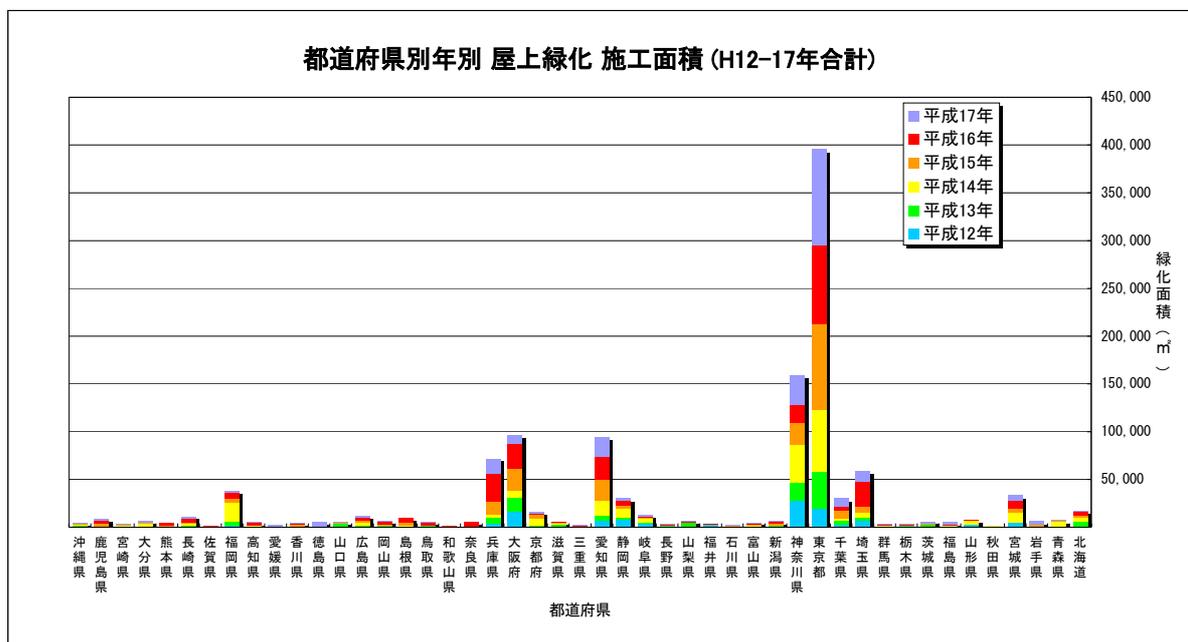
屋上緑化	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
施工面積 累計	122,623	256,286	484,693	718,746	995,960	1,236,840
施工面積 単年	122,623	133,663	228,407	234,053	277,214	240,879
施工件数 累計	447	1,004	1,840	2,715	3,800	4,645
施工件数 単年	447	557	836	875	1,085	845

(単位 件数：件 面積：m²)

②都道府県別屋上緑化施工面積

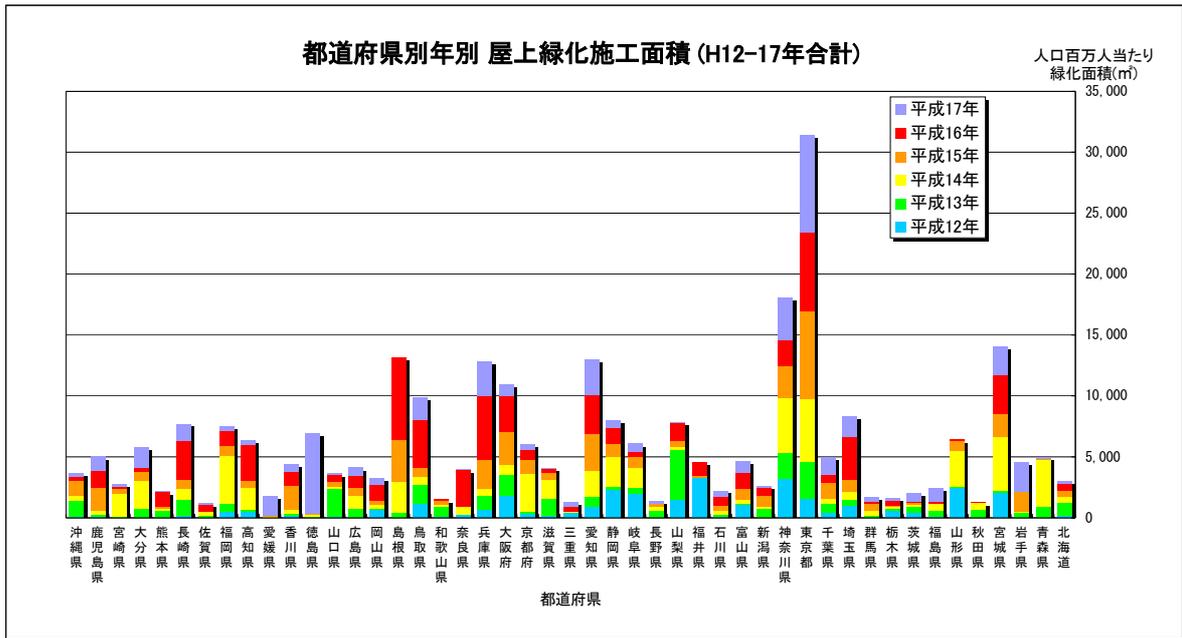
【都道府県別・年別・屋上緑化施工面積】

各年で施工面積の多少はありますが、6年間を合計してみると、三大都市圏や大都市を有する都道府県の施工面積量が特に多くなっています。



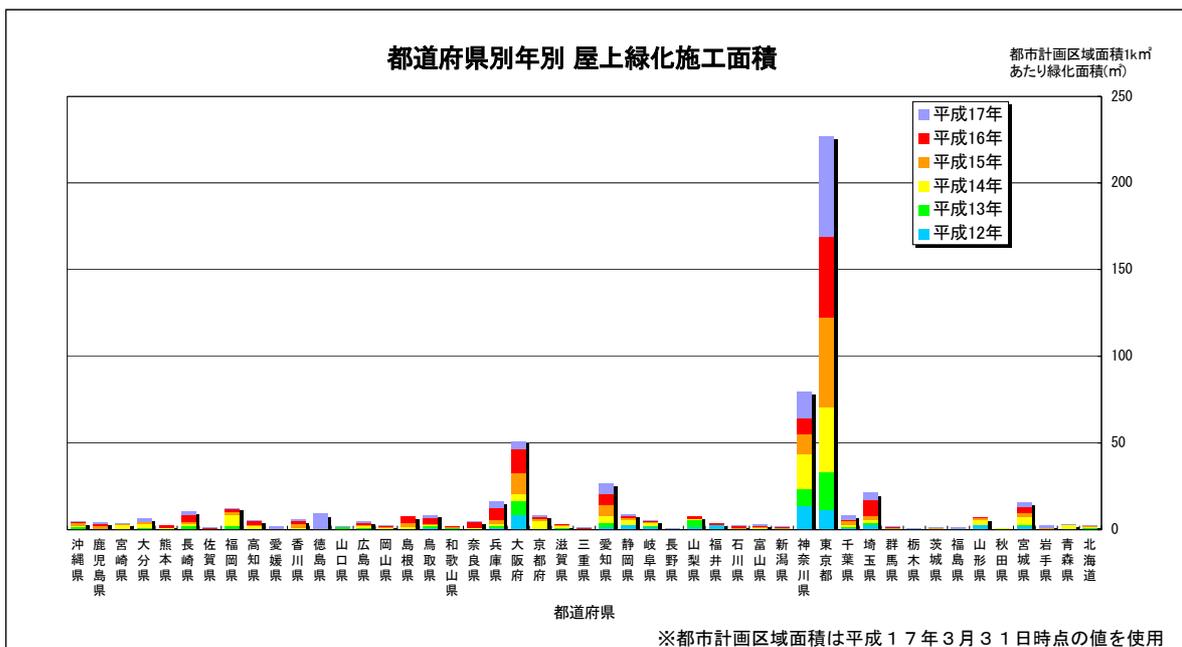
【都道府県別・人口百万人あたり屋上緑化施工面積】

人口あたりの屋上緑化施工面積が最も大きかったのは東京都でした。ちなみに、東京都の場合、百万人あたり約 3ha (30,000 m²)、一人あたり 0.03 m² (10cm×30cm) に相当します。

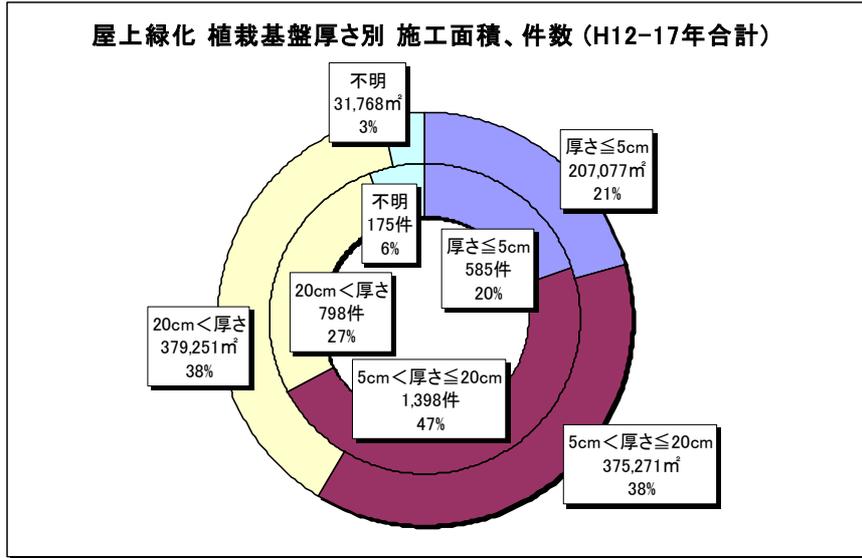


【都道府県別・都市計画区域面積あたり屋上緑化施工面積】

都道府県の都市計画区域面積あたりの屋上緑化施工面積が最も大きかったのは東京都 (1km²あたり約 227 m²、約 0.023%)で、神奈川県 (1km²あたり約 80 m²、約 0.008%)、大阪府 (1km²あたり約 51 m²、約 0.005%)、愛知県 (1km²あたり約 27 m²、約 0.003%)、埼玉県 (1km²あたり約 21 m²、約 0.002%)、兵庫県 (1km²あたり約 16 m²、約 0.002%)、宮城県 (1km²あたり約 16 m²、約 0.002%)と続きます。

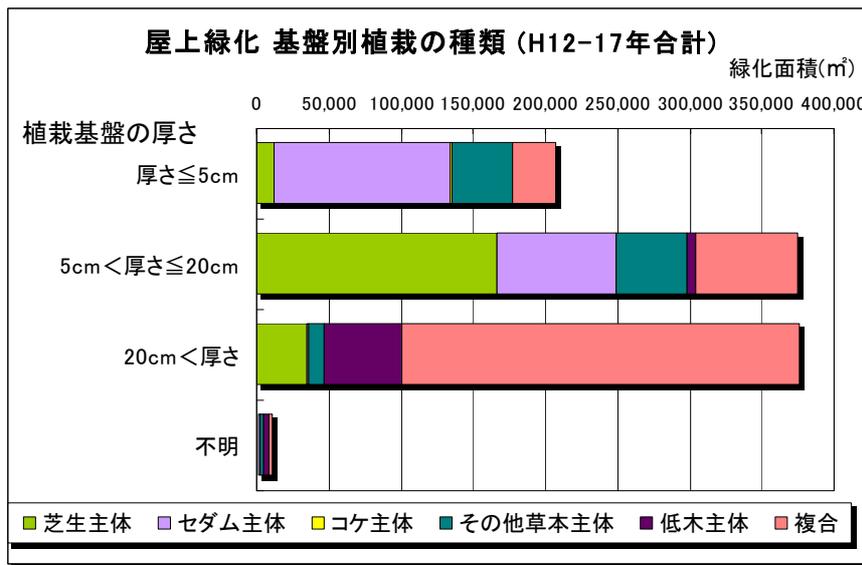


③植栽基盤の厚さ



植栽基盤の厚さについては、合計 993,367 ㎡分、2,956 件の回答がありました。(全回答のうち面積で約 8 割、件数で約 6 割に相当)

施工面積で見ると、植栽基盤の厚さ「5cm 超 20cm 以下」と「20cm 超」がともに回答の約 4 割 (38%)、「5cm 以下」が約 2 割 (21%) となりました。



厚さ 5cm 以下の植栽基盤の場合は、セダム主体の植栽が 6 割近くの面積となっていますが低木主体や複合タイプの植栽も約 3 割あります。

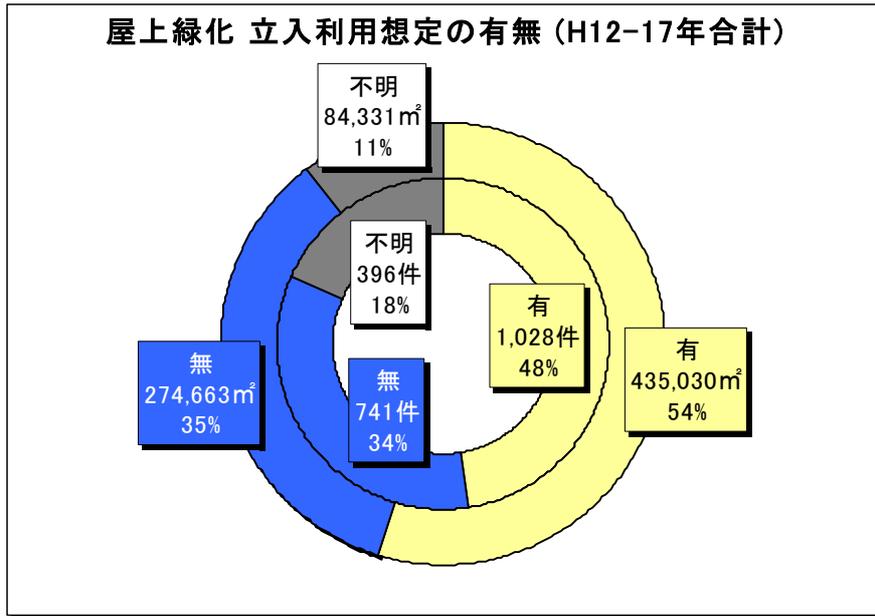
厚さが 5cm を超えて 20cm 以下の植栽基盤の場合は、芝生主体の植栽が最も多く約 45% を占め、セダム主体の植栽と合わせると全体の 2/3 となります。

植栽基盤が 20cm を超えると、複合植栽(約 73%)や低木主体植栽(約 14%)が大幅に増加します。

	芝生主体	セダム主体	コケ主体	その他草本主体	低木主体	複合
厚さ ≤ 5cm	11,872	121,770	2,172	41,038	150	30,075
5cm < 厚さ ≤ 20 cm	166,976	81,814	702	48,800	6,328	70,294
20 cm < 厚さ	34,196	1,558	490	10,348	53,723	275,767
不明	1,042	1,321	10	2,469	4,039	1,429

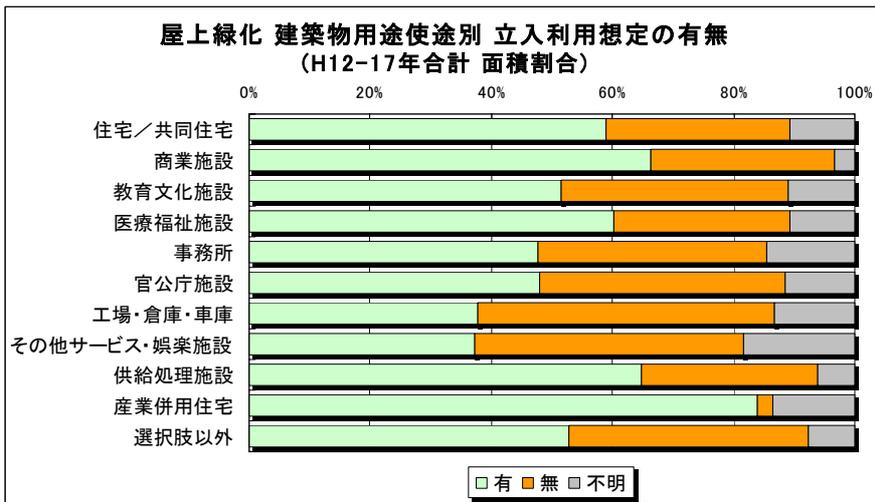
面積(㎡) 注: 無回答を除いている。厚さ別合計と一致するとは限らない。

④立入利用想定



屋上緑化空間への立入利用の想定に関しては、合計794,024㎡分、2,165件の回答が得られました。(全回答のうち面積で約6割、件数で約4割に相当。)

回答があった範囲においては、施工された屋上緑化空間の面積の半分以上(約54%)において、立入利用が想定されていました。



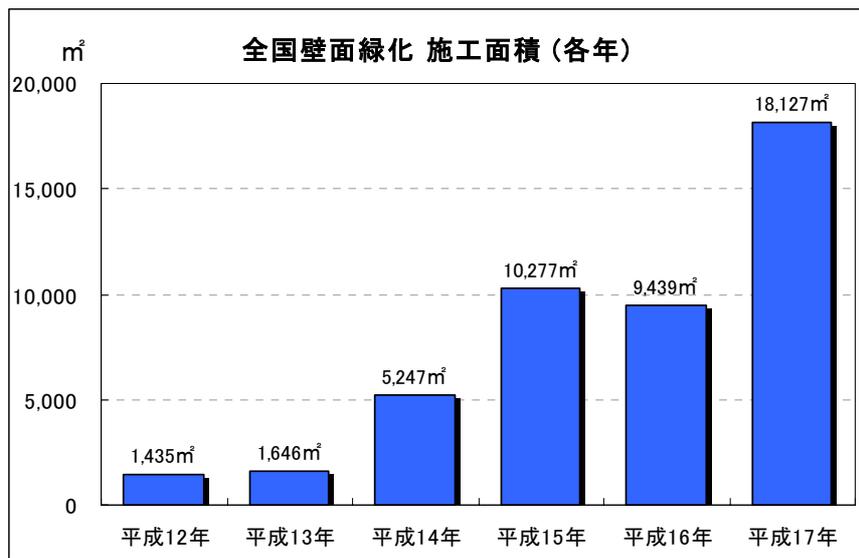
建築物の用途用途による立入利用想定 of 極端な違いは見られませんが、住宅/共同住宅、商業施設、教育文化施設、医療福祉施設、供給処理施設、産業併用住宅で、立入利用想定 of 面積が5割を超えています。

	有	無	不明
住宅/共同住宅	58.9%	30.3%	10.7%
商業施設	66.3%	30.3%	3.4%
教育文化施設	51.6%	37.6%	10.9%
医療福祉施設	60.3%	29.0%	10.7%
事務所	47.7%	37.8%	14.5%
官公庁施設	48.0%	40.6%	11.4%
工場・倉庫・車庫	37.8%	49.1%	13.2%
その他サービス・娯楽施設	37.2%	44.5%	18.4%
供給処理施設	64.9%	29.0%	6.1%
産業併用住宅	84.0%	2.6%	13.4%
選択肢以外	52.9%	39.5%	7.6%

面積割合 (%) 注：無回答を除いている。

4-2. 壁面緑化について

①壁面緑化施工面積(各年)



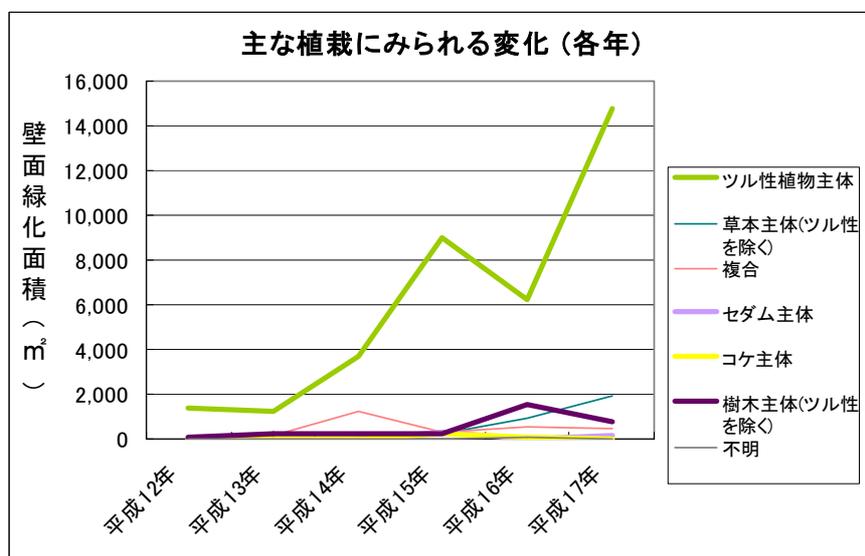
回答によると、年間壁面緑化施工面積は平成16年に前年をわずかに下回りましたが、平成17年は大幅に増加しました。

なお、壁面緑化の平成17年単年の年間施工面積約1.8ha(18,127m²)は、同年の屋上緑化施工面積約24.1ha(240,879m²)の1割弱(約7.5%)にあたります。

壁面緑化	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
施工面積 累計	1,435	3,081	8,328	18,605	28,044	46,171
施工面積 単年	1,435	1,646	5,247	10,277	9,439	18,127
施工件数 累計	7	30	77	123	166	248
施工件数 単年	7	23	47	46	43	82

(単位 件数：件 面積：m²)

②植栽の種類



壁面緑化に利用される植物は、大半がツル性植物で、全体的にみれば、この6年間で大きく増加しています。その他の植物も割合的には少なく、年による増減もありますが、平成12、13年頃に比べると全般的に利用量が増加しています。

平成	ツル性植物主体	樹木主体(除ツル性)	草本主体(除ツル性)	セダム主体	コケ主体	複合	不明	合計
12年	1,347m² 93.9%	86m² 6.0%	2m² 0.1%	0m² 0.0%	0m² 0.0%	0m² 0.0%	0m² 0.0%	1,435m²
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
17年	14,792m² 81.6%	791m² 4.4%	1,925m² 10.6%	142m² 0.8%	20m² 0.1%	449m² 2.5%	8m² (*)	18,127m²

(*)：0.1%未満

5. 調査協力企業リスト

今回の調査にご協力いただいた企業は以下のとおりです。社名のリスト記載に関して許諾をいただけなかった企業は、「ほか〇社」とまとめさせていただきました。

ご協力ありがとうございました。

株式会社愛樹園	河本工業株式会社	株式会社東北緑進総合
アイシン開発株式会社	古賀緑地建設株式会社	東洋建設株式会社
株式会社浅沼組	株式会社国策	内外緑化株式会社
株式会社畔蒜工務店	株式会社小林造園	日産緑化株式会社
株式会社新井組	株式会社サカタのタネ	日新工業株式会社
安行造園株式会社	株式会社ジオシステム	株式会社西川造園
安藤建設株式会社	株式会社四宮造園	西松建設株式会社
株式会社石勝エクステリア	湘南造園株式会社	日本地工株式会社
伊藤忠林業株式会社	常磐開発株式会社	箱根植木株式会社
伊藤鉄工株式会社	株式会社昭和造園	株式会社間組
株式会社茨木春草園	昭和造園土木株式会社	株式会社長谷工コーポレーション
入交産業株式会社	株式会社白石	株式会社ハヤングリーンテクノ
植芝園株式会社	神港農園藝株式会社	阪神園芸株式会社
内山緑地建設株式会社	株式会社スピナ	株式会社磐梯園
ウメサン株式会社	株式会社スルガコーポレーション	株式会社日比谷アメニス
梅林建設株式会社	西武建設株式会社	株式会社姫路マドコン
大木建設株式会社	西武造園株式会社	株式会社フクズミ
大島造園土木株式会社	積水樹脂株式会社	株式会社福田組
株式会社大林組	尊農社緑地株式会社	株式会社富士植木
株式会社岡部工務店	株式会社タイキ	株式会社富士グリーンテック
岡谷鋼機株式会社	大成建設株式会社	株式会社フジタ
株式会社沖電工	ダイトウテクノグリーン株式会社	株式会社フタバ造園
株式会社奥村組	大和化工株式会社	株式会社ブラネット
鹿島建設株式会社	株式会社高特	株式会社本間造園
カネソウ株式会社	株式会社竹中工務店	真柄建設株式会社
唐津土建工業株式会社	田島ルーフィング株式会社	株式会社マサキ・エンヴェック
川田建設株式会社	田野井造園株式会社	松井建設株式会社
株式会社環境総合テクノス	株式会社丹勝	株式会社松村組
関西植木株式会社	株式会社ちきりやガーデン	三井住友建設株式会社
株式会社岸グリーンサービス	辻建設株式会社	株式会社三橋緑化興業
木上梅香園株式会社	テクノ建材工業株式会社	有限会社みどりの産業
木下緑化建設株式会社	鉄建建設株式会社	株式会社武蔵野種苗園
株式会社岐阜造園	株式会社東海フォレスト	森田緑化株式会社
共同カイトック株式会社	東急建設株式会社	株式会社柳島寿々喜園
株式会社久保工	株式会社東新樹脂	矢作建設工業株式会社
株式会社熊谷組	東鉄工業株式会社	ほか、37社 合計152社
グリーンスター株式会社	東武緑地株式会社	(五十音順)
株式会社クリエイティブ阪急	東邦レオ株式会社	
ゲンゼグリーン株式会社	株式会社東北造園	
小岩井農牧株式会社	東北緑化環境保全株式会社	
